

■ご挨拶

平成30年6月、それまで学内に分散していた島根大学ミュージアム本館展示室、島根大学山陰地域資料展示室、島根大学古代出雲文化資料調査室の資料を集約し、これらを一元的、総合的に展示するスペースを開設させていただくことができました。また、これを機に島根大学ミュージアムから島根大学総合博物館に改称いたしました。

開館セレモニーでは、服部泰直学長および秋重幸邦研究学術情報機構長をはじめ、多くの学内外関係者・学生にもご臨席いただきました。新聞・テレビでも大きく報道された結果、学内外から多くの皆様にご来館いただき、おかげ様で平成30年11月には1万人目のお客様をお迎えすることができました。また、親しみある博物館を目指して、当館の愛称およびキャラクターを募った結果、多くの応募作品の中から、4頁目にある"アシカル"に決定させていただきました。

総合博物館の開館2年目となる今年度は、大学博物館としての真価が問われる年になると考えています。学内外の関係諸機関との一層の連携をはかった活動を推進し、「人とともに、地域とともに」をキャッチフレーズにした島根大学の実現を目指していく所存です。

最後に、当館の様々な取組に、御理解と御支援を一層賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

島根大学総合博物館館長 入月俊明

島根大学総合博物館オープンから1周年！

平成30年6月5日、島根大学総合博物館がオープンしました！開館してから1年間の活動の一部をご紹介します。

■長年の夢だった島根大学総合博物館がついにオープン！ 島根大学ミュージアムから島根大学総合博物館へ！！（平成30年6月5日）

平成30年6月5日、学内に分散していた展示室を1か所に集約した"島根大学総合博物館"が、松江キャンパス生物資源科学部3号館内に開館しました。

常設展示は、「①島根大学のこれまでとこれから」「②島根の自然史」「③古代出雲の世界」「④島根の歴史と文化」の4展示テーマからなっています。また平成31年度は、企画展「#カিজユウ展」や特別企画「島根県・中国寧夏回族自治区友好交流25周年記念写真展～寧夏の自然と歴史と暮らしと」などを開催しました。

開館以来、学内外から多くの皆様に足を運んでいただき、平成30年11月には、早くも1万人目の来館者をお迎えすることができました。1万人目のお客様は鳥取県倉吉市の高校生で、学長から記念品を贈呈していただきました。

島根大学総合博物館アシカル

- [開館時間] 午前10:00～午後5:00
- [休館日] 日曜日・祝日・振替休日
その他（入試日など）
年末年始（12月29日～1月3日）
- [入館料] 無料





オープニングセレモニーの様子
ご挨拶される服部泰直学長 (H30.6.5)



オープニングセレモニーでのテープカット
左から秋重幸邦理事、服部泰直学長、入月俊明館長



展示室

島根大学の教育資料・写真、岩石、鉱物、化石、動物、考古資料、民俗資料、絵図など、様々な分野の標本資料を総合的に展示しています。学生サークル「エコ・ネット」が管理する水槽展示もあり、メダカ、ウグイ、ドジョウなど身近な魚を観察することができます。



『島根県・中国寧夏回族自治区友好交流 25 周年記念
写真展～寧夏の自然と歴史と暮らしと』
島根大学に表敬訪問された際に展示を見学される寧夏回族自治区政府の皆様 (H30.9.27)



入館者数 1 万人達成記念セレモニーで記念品を贈呈される服部泰直学長
1 万人目のお客様は、鳥取県倉吉北高校の高校生でした。(H30.11.21)

■総合博物館市民講座(まつえ市民大学連携講座)を開催！(平成30年6月～平成31年3月)

島根大学の様々な専門分野の教員が、研究成果を分かりやすくリレー講義しました。

第1ステージ「石見学Ⅱ－世界遺産・石見銀山とその周辺」 第2ステージ「古代出雲と諸地域の交流を探る」

- ・「江の川流域・三江線沿線の文化遺産」(第103回)
講師 会下和宏(島根大学総合博物館教授・副館長)
日時 平成30年6月9日(土)
- ・「石見銀山をめぐる戦国争乱の実像」(第104回)
講師 長谷川博史(島根大学教育学部教授)
日時 平成30年7月7日(土)
- ・「石見銀山の開発とグローバル世界の誕生」(第105回)
講師 仲野義文(石見銀山資料館館長)
日時 平成30年8月4日(土)
- ・「石見銀山の輝きの源を探る」(第106回)
講師 中村唯史(島根県立三瓶自然館学芸員)
日時 平成30年9月8日(土)
- ・「弥生墳墓からみた出雲と諸地域の交流」(第107回)
講師 会下和宏(島根大学総合博物館教授・副館長)
日時 平成31年2月16日(土)
- ・「出雲に來た渤海人」(第108回)
講師 大日方克己(島根大学法文学部教授)
日時 平成31年3月9日(土)
- ・「古代製鉄からみた出雲と吉備」(第109回)
講師 角田徳幸(島根県教育委員会)
日時 平成31年3月16日(土)
- ・「弥生時代の出雲と吉備の交流」(第110回)
講師 石田爲成(岡山県教育委員会)
日時 平成31年3月23日(土)

令和元年度 総合博物館アシカル講座 第1ステージ「石見学Ⅲ～石見のこれまでとこれから～」のご案内

- | | |
|--|---|
| 第111回「石見の地質と化石」(2019.7.6 13:00～14:30)
講師：入月俊明(島根大学総合博物館館長・学術研究院環境システム科学系教授) | 会場：島根大学生物資源科学部3号館内 ICT 演習室
(総合博物館の隣) |
| 第112回「江戸時代『石見国絵図』を読み解く」(2019.7.20 13:00～14:30)
講師：会下和宏(島根大学総合博物館副館長・学術研究院人文社会科学系教授) | |
| 第113回「海のたたら、川のたたら～石見のたたら製鉄～」(2019.8.24 13:00～14:30)
講師：角田徳幸(島根県教育委員会・島根大学嘱託講師) | |
| 第114回「地図から読み解く石見の集落～なぜ石見は過疎発祥の地となったのか～」(2019.9.7 13:00～14:30)
講師：作野広和(島根大学学術研究院教育学系教授・総合博物館兼任研究員) | |

■第14回島根まるごとミュージアム体験ツアー「佐太大神ゆかりの地と島根半島・宍道湖中海ジオパークをめぐる」を開催！(平成30年7月14日)

佐太大神ゆかりの地である海蝕洞窟「加賀潜戸」や佐太神社などをバスや遊覧船で巡りました。「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」にも登録されている松江市島根町・鹿島町の自然・歴史・文化について、現地をまわりながら学んでもらうことができました。



■冬の子供ミュージアム体験教室「チョコレートで化石のレプリカを作ろう！」を開催！(平成31年2月2日)

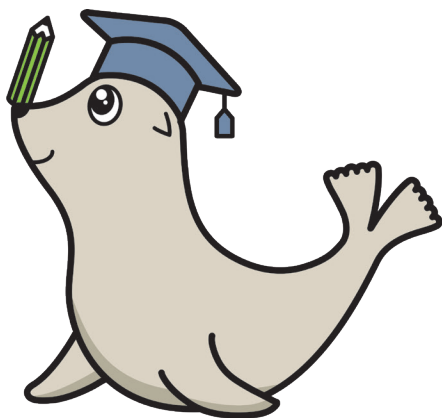
毎年、子どもたちに島根大学や博物館に慣れ親しんでもらうための体験教室を開いています。平成最後の体験教室は、バレンタインデーにあわせて、チョコレートによる化石のレプリカ製作に挑戦してもらいました！！





博物館実習Ⅲ（法文学部学生向け）

島根大学総合博物館に団体見学に来た小学生に展示解説する法文学部実習生（H30.9.27）



アシカル

当館の目玉的な展示資料「ニホンアシカ」のキャラクターです。「アシカル」は、「ニホンアシカ」と「カルチャー」を合成した名前。足（あし）を軽（かる）くしてご来館してほしいという願いもこめています。

■総合博物館を活用した学芸員養成課程授業を開講しました。

総合博物館では、学芸員資格を取得するための学芸員養成課程の授業を開講しています。

島根大学では、法文学部・総合理工学部・生物資源科学部の3学部で学芸員資格を取得することができます。約80名の学生が、将来、博物館関係の職に就くために、資格取得に向けて頑張っています。

授業では、総合博物館の所蔵資料や展示室を活用して、実践的な教育を行っています。

■総合博物館の愛称・マスコットキャラクターが「アシカル」に決まりました！（平成31年4月22日）

当館では、親しみのある博物館を目指して、館の愛称とマスコットキャラクターを募集していましたが、学内外からマスコットキャラクター327点、愛称937点の応募がありました。多くの皆様からご応募いただき、まことにありがとうございました。

このたび、厳正な選考の結果、本学学生が考案した作品「アシカル」に決定いたしました。

今後、当館のパンフレット、ホームページなどで使用し、学生や市民から末永く愛される博物館を目指していきます。今後とも「アシカル」をよろしくお願い致します。



モノを楽しむ～学び舎に残された島大コレクション～

旧制松江高等学校で使用されていたドイツ製光学顕微鏡

旧制松江高等学校の動物学・植物学実習で使用された約40台のうち、現在まで保存されてきた貴重な1台です。1949年からは、島根大学文理学部・生物学専攻の学生も使用しました。

ドイツのエルンスト・ライツ社（現ライカ社）製で1920年代のものです。収納木箱、対物レンズ、接眼レンズなどもセットで保存されています。西上一義島根大学名誉教授からご寄贈いただきました。

SHIMADAI MUSE 第6号

島根大学総合博物館アシカル ニュースレター

発行日 2019年6月5日

発行者 島根大学総合博物館アシカル

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL 0852-32-6496